

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：企画調査費

事業名 清流の国ぎふ芸術祭開催事業費（トリエンナーレ）

（この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください）

環境生活部県民文化局文化創造課 文化創造係 電話番号：058-272-1111（内3118）

E-mail：c11146@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 32,395 千円 （前年度予算額：72,795 千円）

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	72,795	16,013	0	0	0	0	0	0	56,782
要求額	32,395	0	0	0	0	0	0	0	32,395
決定額	32,395	0	0	0	0	0	0	0	32,395

2 要 求 内 容

（1）要求の趣旨（現状と課題）

県では新たな才能の発掘と育成、アートに関わる人材の育成とネットワークづくり、新たな形のアートの鑑賞機会を提供するため、全国規模の企画公募展「清流の国ぎふ芸術祭 Art Award IN THE CUBE」を開催している。

2023年4月22日（土）～6月18日（日）に第3回目として開催された「清流の国ぎふ芸術祭 Art Award IN THE CUBE 2023」（テーマ：「リアル」のゆくえ）では、県内外から総勢6万人を超える来場者にお越しいただき、若い世代や子連れファミリーなど、普段美術館に足を運ばない層に多様なアート表現に触れる機会を提供することができた。

【清流の国ぎふ芸術祭 Art Award IN THE CUBEの概要】

- ・主 催：清流の国ぎふ芸術祭 Art Award IN THE CUBE実行委員会、岐阜県
- ・開 催 年：トリエンナーレ方式
※第1回は2017年、第2回は2020年、第3回は2023年に開催
- ・応募規定：キューブ空間 [幅4.8m×奥行4.8m×高さ3.6m] に、決められたテーマを解釈・表現する作品を国内外から募集（分野・技法・手法は問わない）

（2）事業内容

「清流の国ぎふ芸術祭 Art Award IN THE CUBE」の次期開催に向けた検討、開催準備を行う。

(3) 県負担・補助率の考え方

岐阜県の文化振興の主要プロジェクトとして実施するものであり、全額県負担とする。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
負担金	32,395	実行委員会負担金
合計	32,395	

決定額の考え方

--

4 参考事項

(1) 事業主体及びその妥当性

本負担金を受けて「清流の国ぎふ芸術祭Art Award IN THE CUBE 実行委員会」が事業を実施する。

将来的に、県内の幅広い層の参画を得ること、各種協賛金を受領することも想定して、実行委員会を継続し事業を実施する。

(2) その他

「清流の国ぎふ芸術祭 Art Award IN THE CUBE」の企画及び運営の詳細事項については有識者で構成される企画委員会において決定することとしており、今後も全国規模の公募展として更に発展していくため、企画委員会においてこれまでの成果を検証・総括し、展覧会の在り方を検討していく予定である。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

「清流の国ぎふ芸術祭 Art Award IN THE CUBE」の次期開催に向けた検討、開催準備を行う。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R元)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R)	達成率
① 応募総数	710件	574件	-	-	600件	-

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> ○「清流の国ぎふ芸術祭 Art Award IN THE CUBE 2020」を開催し、7,759人（会期30日間、1日平均259人）が来館。 ○「清流の国ぎふ芸術祭 Art Award IN THE CUBE 2023」開催に向けて各種検討を開始。
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> ○「清流の国ぎふ芸術祭 Art Award IN THE CUBE 2023」の開催に向け、作品の受付（2021年12月～2022年5月）を開始。また、国内外に公募周知を図るためPRイベント・公募説明会の開催、広報等を実施。 ○「清流の国ぎふ芸術祭 Art Award IN THE CUBE 2023」の公募周知を図るため、国内主要都市において、PRイベント・公募説明会を開催（新型コロナ拡大等のため、東京、名古屋、福岡、京都はPRイベントの開催を中止、代わって審査員や入選作家との対談をオンラインで実施）。 ○公式ウェブサイトに英語版を開設するなど、海外からの作品応募増に向けた取組みを実施。
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> ○「清流の国ぎふ芸術祭 Art Award IN THE CUBE 2023」作品受付（2021年12月～2022年5月）の結果、国内外から574件（うち海外からは香港、豪、シンガポール、米、独など11の国と地域から31件）の応募が集まった。 ○応募のあった574件の企画書による一次審査会（2022年9月開催）を経て入選作品14点を選考。その後、入選作品の発表、作品の事前制作、会場設営（県美術館へのキューブの制作・設営、作品設置）を実施。 ○2023年4月の開幕に向け、展覧会の認知度・関心を高め、来場者数増につなげるため、各種PRイベントや美術系ウェブサイト・専門誌などによる広報、各種SNSでの周知を実施。

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない	
(評価) 2	県内の文化振興につながるため、事業の必要性が高い。
・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない	
(評価) 2	第3回となる「清流の国ぎふ芸術祭 Art Award IN THE CUBE 2023」は、応募総数574件、来場者数は過去最高の延べ61,763人となった。若い世代や子連れファミリーなど、普段美術館に足を運ばない層の来場があった。 また、展覧会としても、入選作家、審査員、美術関係者から高い評価を得ている。
・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) 2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている	
(評価) 2	「清流の国ぎふ芸術祭 Art Award IN THE CUBE 2023」ではボランティア、企業協賛とも過去実績を上回り、展覧会を支える取組みも成果を上げている。

(今後の課題)

・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 全国規模の公募展として更に発展するため、これまでのArt Award IN THE CUBE成果を検証・総括し、展覧会の在り方を検討していく必要がある。

(次年度の方向性)

・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 有識者で構成されている「清流の国ぎふ芸術祭運営委員会」及び「企画委員会」において、「清流の国ぎふ芸術祭 Art Award IN THE CUBE」の次期開催に向けた検討、開催準備を行う。
--